



2025年2月12日

各 位

会 社 名 I-PEX 株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 土山 隆治
(コード番号 6640 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 財務統括部長 嶋崎 岳志
(TEL. 075-611-7155)

営業外収益（為替差益）の計上及び通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

営業外収益（為替差益）の計上及び2024年11月7日に公表した2024年12月期の通期連結業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上について

2024年12月期第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）において、為替差損204百万円を計上しておりましたが、為替相場の変動により、第4四半期連結会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）では、818百万円の為替差益が発生したため、当2024年12月期連結会計年度（2024年1月1日～2024年12月31日）においては、為替差益613百万円を営業外収益に計上いたしました。

2. 通期業績予想との差異

(1) 2024年12月期通期連結業績予想と実績との差異（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	63,000	2,500	2,500	700	37.73
実績値（B）	64,548	2,557	3,320	1,230	66.33
増減額（B－A）	1,548	57	820	530	
増減率（%）	2.5	2.3	32.8	75.7	
（ご参考）前期実績（2023年12月期）	59,014	△759	△555	△1,269	△68.42

(2) 差異が生じた理由

通期の売上高につきましては、電気・電子部品事業において、主力製品であるコネクタやデータセンター向けHDDの需要が年間を通じて堅調に推移したことにより、売上高を牽引しました。一方、自動車部品事業においては、EV市場の低迷や自動車メーカーの品質認証不正問題等による自動車部品メーカーの在庫調整の影響が長引き、部品需要の回復は限定的なものにとどまりました。設備事業においても、半導体メーカーにおける車載用半導体の過剰在庫や、自動車メーカーによるEV向け投資の延期等の調整局面が継続しており低調に推移しました。以上の理由より、売上高は事業毎の濃淡はあ

ったものの概ね前回の予想通りとなりました。一方、上記のとおり為替相場の変動に伴い為替差損が大幅に縮小した影響により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については前回予想を上回る結果となりました。

以 上